

第26回参議院議員通常選挙の結果を受けて（会長談話）

第26回参議院議員通常選挙を経て、有権者は与党に安定的な政権運営ができる議席を与えました。この結果からは、政治の安定を望む有権者の心情をうかがい知ることができますが、その中心にあるのは、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の影響による物価高であり生活の困難さの高まりといえます。与党には、有権者が何を求めて重い一票を投じたのかを肝に銘じ、国民の負託に恥じない国政運営を期待するものです。

選挙戦最終盤に突如発生した安倍晋三元首相に対する銃撃事件は、言論をもって主張を訴え、有権者は票をもって意思表示するという、民主主義の根幹をなす自由で公正な選挙プロセスをも脅かしかねない重大なものでした。尊い人命を奪った非道な暴力は絶対に許されるものではなく、今回ほど選挙を混乱なく行う大切さが問われたことはなかったでしょう。その意味で、大きな混乱なく投開票がなされたことは、この国の民主主義の底力だったと受け止めています。今回の選挙を支え抜いたすべての人に敬意をもって感謝いたします。

与党が改選過半数の議席を得て、非改選と合わせて過半数を維持したことで、当面する国政選挙がないことから賛否の分かれる政策も世論を気にすることなく実現できるとする見方があります。しかし、今回の選挙戦を通じてなされた議論からは、世界的に大きな転換期に突入したなかで本来なされるべき「国のあり方、ありたい姿」に向けた具体的議論が展開された印象に乏しさが否めません。国家のありように関する見解が、与野党とも薄弱であることの裏返しなのでしょう。高い視座と広い視野、長期的な視点をもった議会運営を期待します。

今回選挙のもう一つの特徴は、新たな政党が国政に参画することとなった点です。蓄積された変化を求める国民意識の表れとして注目すべきものでしょう。このことは、前例のない危機の連鎖の前に、国民が真に豊かさを実感できる経済社会への転換が喫緊の課題となっていることを意味しています。その意味で「経済を牽引する力であり、社会の主役」（中小企業憲章）と謳われた中小企業がこの位置づけを体現することができる従来路線からの政策転換が求められています。そのためにも、個性ある豊かな国民経済を実現する「新たな」経済社会の姿を描き出す不断の努力と、国民的見地に立ち、丁寧に議論がなされることを求めます。

これらの基礎は、健全な中小企業が活躍する平和で民主的な社会と、すべての人が人間らしく豊かに暮らすことのできる環境です。そしてこの前提として問われなければならない最大のものが、国のありようを定める「憲法」の問題です。「良識の府」としての矜持のもと、国民一人ひとりの尊厳を守り、その権利を実現する民主主義を根付かせ、自主的・平和的な経済と社会を築く観点から、国民の本源的願いに誠実に思いを致し、国民的議論を慎重に重ねながら熟慮と冷静な判断を期待するものです。

.....

愛知中小企業家同友会とは

現在、愛知県下4,100名超の中小企業経営者が参加する異業種の経営者団体で、「経営体質の強化」「経営者の資質の向上」「経営環境の改善」をめざすという「3つの目的」に基づき活動しています。

1. 名称 愛知中小企業家同友会
2. 会員数 4,153名（2022年7月11日現在）
3. 会長 高瀬 喜照（たかせ よしてる） 株式会社高瀬金型 代表取締役社長
4. 事務局 名古屋市中区錦3-6-29 サウスハウス2階
電話 052-971-2671 FAX 052-971-5406
専務理事 内輪 博之、事務局長 多田 直之
報道担当（事務局次長）八田 剛、政策担当（事務局次長）池内 秀樹